



2026
48号

8月1日発行



写真：ブラジル ラール・サントアントニオの子どもたち

事務局よりごあいさつ

会員・恩人の皆様

いつも温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

世界情勢が不安定な中、私たちの宣教女シスター方は、貧しい地域で困難を抱える子どもたちとご家族のために、日々懸命に働いてくださっています。

時に、私たち自身が不信仰ゆえに「必要な支援を続けられないのではないか」と心を痛めることもあります。しかし、そのような時に必ず皆様からの温かいお支えをいただき、神様の御手の働きを深く感じさせていただいております。改めて心より感謝申し上げます。

カリタス会のシスター谷口がお作りになった「祝福の歌」（詩編 67）の一節をご紹介します。

「神が私たちを恵み、私たちを祝福し——その救いが、そこに生きる人々に知られるように——」

子どもたちに笑顔を届け、そして皆様へ現地からの報告と感謝をお伝えできるよう、これからも努めてまいります。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。 代表 山縣久美子

訃報のお知らせ

シスター岡野は、抗がん剤治療を受けながら事務局で奉仕して下さっていましたが、神さまは2月12日にご自分の元にお呼びになりました。これまで丁寧に細かい作業をして下さったこと感謝いたします。全く苦しさを見せず、愛のうちに働いておられました。今は天国から活動を見守って下さっていると信じます。どうぞお祈りください。

今号のトピックス

ブラジル サンマテウス(エスコーラ・カリタス)学園 :奨学金支援

ブラジル ラール・サントアントニオ養護施設・ユースセンター
食糧支援と教材・設備メンテナンス費支援

ペルー アントニオ・カヴォリ学園:教育支援・教員研修支援

ボリビア オガール・ファティマ乳幼児院:食糧支援と職員給料支援

南スーダン チルドレンセンター :食糧・医療支援

ブラジル



動画はこちらから→



【エスコーラ・カリタス学園】

奨学金として申請額の一部250万円を支援することができました。—2025 年度分—
現地の奨学生と保護者からのメッセージが届いております。



Priscila

母親として私はいつも、教育だけでなく、インクルーシブで、子どもの社会的・情緒的な成長を大切にしてくれる学校を探してきました。奨学金をいただいたことで、経済的に安心できただけでなく、心から子どもたちを任せられるという大きな安心を得ることができました。この5年間、私はこの学校の教育を信頼し、学校が提供してくれる環境や支援に深い信頼を寄せています。子どもたちが幸せに、そして温かく受け入れられながら成長していける場所だと感じています。私も家族も、学校が子どもたちだけでなく、私たち家族、そして地域のコミュニティ全体にまで与えてくださっているすべてに、心から感謝しています。



Laura

この学校は、私にとって心の支えとなる大切な場所です。この支援のおかげで、勉強や将来の夢といった本当に大切なことに集中できています。ここで学び続ける機会をいただいたことで、未来に希望を持ち、自分の目標に向かって進んでいけるという自信が生まれました。カリタスで学び続ける機会を与えていただいたことに、心から感謝しています。



Phelipe

友人や先生方とともに、この学校で学び続けることができたことは、私の人生における大きな転機となりました。奨学金のおかげで新たな可能性が開かれ、家族がずっと願ってくれていた夢や期待に応えられる機会を得ることができました。本当に感謝しています。



Pietro

家庭の事情が厳しくなったとき、学校は私たち家族に温かく手を差し伸べてくれました。高校生だった私は、学校から社会奨学金(学費支援)を受けることができ、大きな助けとなりました。この経験を通して、この学校は私個人だけでなく家族全体を支え、私が高校生活や学業に専念できるよう後押ししてくれていると実感しています。

【ラール・サントアントニオ養護施設・ユースセンター】

食糧支援と施設設備メンテナンス、教材支援として、3,258,000 円を支援することができました。（うち 300 万円は指定献金） —2025 年度分— 感謝の手紙と動画が届きました。



シスター方、カリタス友の会の皆様

いつも温かいご支援と尊いお祈りをいただき、心より感謝申し上げます。私たちが関わる養護施設やユースセンターの子どもたちは、元気に本会の事業や学校の活動に参加し心身ともに成長しています。特に私たちは、子どもたちの健康や家庭環境の改善のために家族に寄り添い支援しています。アルコールや薬物依存症など難しいケースがありますが、福祉や医療機関と連携しながら取り組んでいます。養護施設では乳幼児の入所が続いており、担当のシスターが中心になって育児にあたっています。

これからも、子どもたちの健やかな未来のために、ご支援、お祈りをよろしくお願いいたします。皆様のご健康とご多幸を、ブラジルよりお祈りしております。

シスター・職員・子どもたち一同



毎日、ここで特別なことが起こります…

それはすべて、あなた方のおかげです

本当にありがとうございます！

あなた方は、一人ひとりの人生に大きな影響を与えています

協力してくださったすべての方々に感謝いたします！



←動画はこちらの QR コードから御覧いただけます



共に祈り、学び、食べることができ、感謝しています。

ペルー



【アントニオ・カヴォリ学園】からの感謝のお便りと動画です。

学校運営費助成、学習支援教材、個別指導費用の支援として1,600,000円が承認されました。－2026 年度分－

イエスのカリタス友の会の皆様へ

アントニオ・カヴォリ学園より感謝をこめて

風薫る初夏の季節、皆様にはお健やかに過ごしのことと存じます。このたび、アントニオ・カヴォリ学園への温かいご支援と尊いご寄付を賜り、心より深く感謝申し上げます。

皆様からいただいたご厚意は、私たちにとって単なる支援を超え、神の愛がそっと寄り添ってくださっているような、静かな励ましとなっています。青葉のまぶしい季節に、皆様のお心が清らかな光となって、学園の歩みを照らしてくださっています。

今回のご支援により、教職員の研修をさらに充実させ、教育環境を整えることができました。特に、学習障害の特性を持つ子どもたちへの支援を強化できることは、私たちにとって大きな恵みです。これまで十分に応えられずにいた課題に、ようやく光が差し込んだように感じております。

子どもたちは毎日、朝の澄んだ空気の中で登校し、7時45分から午後3時30分まで「カヴォリファミリー」として共に学び、祈り、成長しています。初夏のやわらかな陽ざしのような温かい関わりの中で、一人ひとりの違いが尊重され、愛と連帯の精神が息づいています。

しかし社会に目を向けると、学習障害を持つ子どもたちの受け入れ先はまだ限られており、多くのご家庭が不安を抱えています。その中で本校は、小さな灯火ではありますが、子どもたちとご家族にとって「安心できる場所」としての役割を少しずつ担い始めています。保護者の方々からいただく「子どもが笑顔を取り戻した」「ここで初めて安心できた」という言葉は、私たちにとって何よりの励みです。

治安や社会不安が続くペルーの状況の中でも、子どもたちの笑顔と成長が、私たちの日々の力となっています。皆様のご支援は、この歩みをしっかりと支えてくださり、まさに初夏の陽光のように、暗闇の中に確かな希望をもたらしてくださいました。

イエスのカリタス修道女会として奉仕する私たちは、皆様のご厚意を日々の祈りの中で思い起こしながら、皆様とご家族の上に神様の豊かな祝福が注がれますよう心よりお祈りしております。

どうか、皆様が蒔かれた善意の種が、やがて豊かな実りとなって返りますように。そして、ご家庭に平和と健康、変わらぬ愛が満ちあふれますように。聖母マリアがいつも皆様と共に歩み、そのご奉仕を天の祝福で包んでくださいますようお願いしております。

深い感謝と敬意をこめて。

2026 年 6 月 3 日 アントニオ・カヴォリ学園 校長 シスターヨハンナ林 恵



ビデオー希望の巡礼者の歌



ペットボトルのキャップで算数



レゴを使った力学



←動画は左の QR コードから御覧ください



職員給料と不足分の食費、おやつ代(1年分)として1,919,340円の支援が承認されました。-2026年度分-



HOGAR DE NIÑOS "Virgen de Fátima"

2025年度 食費支援 会計報告

基金:イエスのカリタス友の会

施設名:オガールファティマ乳幼児院(リマの聖女ローザ準管区/ボリビア国)

1. 食費不足分の食費支援

受領額: 3650ドル $\div$ 29,930ボリビアーノス(1ドル8.20ボリビアーノスで換金) 一日の一人の子供の保護生活費2ドル $\times$ 推定不足分5人分 $\times$ 365日分 $\div$ 3650ドル

期間	Detalle 詳細		Saldo 残高
1/1/2025	Saldo inicial 受領金	Bs 29.930,00	Bs 29.930,00
1月~4月まで合計	Verduras (野菜)	Bs 3.829,00	Bs 26.101,00
1月~4月まで合計	Carne (鶏肉、牛肉、豚肉、ソーセージなど)	Bs 3.501,00	Bs 22.600,00
1月~4月まで合計	Abarrates (穀類、調味料ほか)	Bs 4.154,00	Bs 18.446,00
5月~8月まで合計	Verduras (野菜)	Bs 3.000,00	Bs 15.446,00
5月~8月まで合計	Carne (鶏肉、牛肉、豚肉、ソーセージなど)	Bs 3.100,00	Bs 12.346,00
5月~8月まで合計	Abarrates (穀類、調味料ほか)	Bs 3.000,00	Bs 9.346,00
9月~12月まで合計	Verduras (野菜)	Bs 3.000,00	Bs 6.346,00
9月~12月まで合計	Carne (鶏肉、牛肉、豚肉、ソーセージなど)	Bs 3.300,00	Bs 3.046,00
9月~12月まで合計	Abarrates (穀類、調味料ほか)	Bs 3.050,00	-Bs 4,00
	合計	Bs 29.934,00	

2. 一人当たり、1日1回分のおやつ代として

受領額: 3925ドル $\div$ 32.185,00ボリビアーノス(1ドル8.20ボリビアーノスで換金) 3ボリビアーノス(0.43ドル) $\times$ 25人 $\times$ 365日ドル

期間	Detalle 詳細		Saldo
4/5/2025	Saldo inicial 受領金	Bs 32.185,00	Bs 32.185,00
1月~4月まで合計	Lacteos (乳製品・ジュース・豆乳ジュース・ヨーグルト他) 1月~4月まで合計	Bs 2.929,00	Bs 29.256,00
1月~4月まで合計	Gelatina(ゼリーとプリン粉・コーンスターチ他)	Bs 2.280,00	Bs 26.976,00
1月~4月まで合計	Galletas (クッキー・飴・チョコ棒他)	Bs 3.155,00	Bs 23.821,00
1月~4月まで合計	Frutas(果物)	Bs 3.030,00	Bs 20.791,00



HOGAR DE NIÑOS "Virgen de Fátima"

5月～8月まで合計	Lacteos (乳製品・ジュース・豆乳ジュース・ヨーグルト他) 1月～4月まで合計	Bs 2.950,00	Bs 17.841,00
5月～8月まで合計	Gelatina(ゼリーとプリン粉・コーンスターチ他)	Bs 2.300,00	Bs 15.541,00
5月～8月まで合計	Galletas (クッキー・飴・チョコ棒他)	Bs 2.500,00	Bs 13.041,00
5月～8月まで合計	Frutas(果物)	Bs 2.500,00	Bs 10.541,00
9月～12月まで合計	Lacteos (乳製品・ジュース・豆乳ジュース・ヨーグルト他) 1月～4月まで合計	Bs 2.600,00	Bs 7.941,00
9月～12月まで合計	Gelatina(ゼリーとプリン粉・コーンスターチ他)	Bs 2.500,00	Bs 5.441,00
9月～12月まで合計	Galletas (クッキー・飴・チョコ棒他)	Bs 2.900,00	Bs 2.541,00
9月～12月まで合計	Frutas(果物)	Bs 2.550,00	-Bs 9,00
	合計	Bs 32.194,00	

要約

単位：ドル

2025年度カリタス友の会支援基金	支援額	使用額	残高
1. 不足分の食費として	3,650	3650.50	0
2. おやつ代 1日1回分として	3,925	3926.10	0
合計	7,575	7576.60	0

2025年度 給与会計報告 2026年1月31日現在

基金:イエスのカリタス友の会給与基金

施設:オガールファティマ乳幼児院 (リマの聖女ローザ準管区/ボリビア国)

対象職員

1 SANDRA LILIANA RODAS NOGUERA 乳児室勤務保育士

2 MARIA NORMA SORUCO VARGAS 炊事場、調理師

寄付受領金: 2人分の年間給料合計、4320ドル×2人分=8,640ドル

単位: Bolivianos Compra:Bs8.20

2025年イエスのカリタス友の会よりの寄付受領金 換金して Bs 70,848.00

1月から12月分 Bs2750 X 12ヶ月分 X2名分 使用額 Bs 66,000.00

クリスマスボーナス2名分と退職金2名分合計 Bs11,000の一部支払金 Bs 4,484

給与支援 合計使用金 Bs 70,848.00

残金 Bs 0.00



HOGAR DE NIÑOS “Virgen de Fátima”

※ボリビア国の最低賃金が、5月よりBs 2750となり、法規に従って、結局1月から4月までの給与の昇給分Bs250分も含めて支払うことになり、1月から12月まで、Bs2750X2名分を12ヵ月分=66,000使用しました。余剰金 10ドル=Bs.82と合わせて、2025年、給与支援の残高は、Bs4,930でした。2025年5月の報告の際に提案させていただきましたように、ボリビアの法規で義務づけられている年末のクリスマスボーナス2名分 5500Bsと退職金2名分Bs5500、合計Bs11,000の支払いの一部に充てさせていただきました。2025年も職員の給与を支払うことができ安堵しました。ご支援ありがとうございました。

施設長 *Angela Canseco Sánchez*
会計補助 Sr. Juliana 川下



Av. Centenario entre 2do. y 3er Anillo • Calle Tucavaca # 2440 • Casilla 2806 • Telf.: 354-1101 • ofatima@cotas.com.bo • Santa Cruz - Bolivia



子どもたちの笑顔は最高



ご支援によるおやつ



菜園のお手伝いもします



動画はこちらから→



親愛なるカリタス友の会の皆様、私はオ
ガールファティマ乳児院の新しい施設
長、アンジェラ・カンセコです。シスターた
ちや子供たち、そして世話をするスタッ
フ一同、皆様が私たちに送ってくださる食
品、おやつなどの温かいご支援に心より
感謝申し上げます。現在、ボリビアは非
常に困難な状況にありますので、どうか
私たちのために祈りくださいますよう
お願いいたします。本当にありがとうござ
います。皆様に神様の祝福がありますよ
うに。（子供たち、シスターズ、スタッ
フ、皆一緒に）ありがとうございます。

南スーダン



【チルドレンセンター】からのご報告

友の会の皆様へ

食糧支援として 1,640,000 円が承認されました。ー2026 年度分ー

南スーダンのために、いつもご支援ありがとうございます。2011年にアフリカ大陸で54番目の、また世界で一番新しい国となって15年が経ちました。寛大なお祈り、ご支援により私たちの活動は現地の人々と共に続けることができます。しかし、いまだに不安定な政治、経済によって多くの人々は苦しい生活をしています。度重なる内戦、部族間の争いにより、難民は減るどころか増える一方です。そんな中でも、毎年支援して下さる資金で、食料品、薬などを提供できましたこと、心から感謝いたします。私たちの活動報告をさせていただきます。

2024年9月から2026年3月までに、6回の食糧支援と2回のクリスマスを祝って子供たちへのスペシャルな食事を提供することができました。写真をご覧いただければと思います。



小教区の聖ヴィンセンシオグループのメンバーとともに、油、トウモロコシの粉、砂糖、塩、豆、石鹼など 300 家族に配布しました。クリスマスのお祝いには子どもたちが普段食べることのできない牛肉を料理して喜ばれました。ちなみに牛一頭を7万円で購入して6000 人が食べることができたのです。日本のサイコロステーキ位の大きさを1切ずついただきました。ご支援に感謝！

動画はこちらからどうぞ→





トウモロコシの粉で主食作り



貴重な井戸水を得るため集まった子どもたち



牛肉の料理中

ジュバ共同体 シスターマリア・ボスコ 下崎優子

【2025 年度の会計報告】

イエスのカリタス友の会 会計報告
2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

《収入の部》

(単位：円)

科目	金額	備考
寄付金収入	7,943,747	
一般からの寄付金	7,566,437	
CD による寄付金	377,310	
その他の収入	447,282	
バザーによる収入	329,060	
雑収入	118,222	使用済み切手売り上げ、書き損じはがき交換、EM 石けん、他
当期収入合計	8,391,029	
前期 繰越金	1,515,812	
収入の部合計	9,906,841	

《支出の部》

(単位：円)

科目	金額	備考
宣教活動支援費	5,758,000	
イエスのカリタス会 ブラジル準管区	5,758,000	ラールサンアントニオ子ども達の食糧支援 258,000 指定献金から（施設設備・教材費） 3,000,000 エスコラカリタス奨学金支援 2,500,000
運営費支出	75,972	
友の会便りの印刷	27,270	
通信費	48,702	友の会だより送料、切手、レターパック代
当期支出合計	5,833,972	
次期 繰越金	4,072,869	
支出の部合計	9,906,841	

* 指定献金とは、支援者が寄付先を指定されたものです

2025 年度も皆さまの温かいご支援をいただき、たくさんの支援ができました。心から感謝いたします。

【支援者の方々】(2025年12月4日～2026年7月21日まで)匿名希望の方々を含め、たくさんの方々に多方面でご支援いただきました。ありがとうございました。(順不同・敬称略)

ご寄付支援者

聖アンナの園保育園 加藤尚子 豊島 究・あんづ 西野成葉・章子 曾我千瑳子 紅葉寮 奥野ケイ子 日宇英之・スギノ 三原教会 笠利聖母保育園 井萩聖母幼稚園 井萩聖母日曜学校 下井草教会 松本ドンボスコ保育園 横須賀 大津カトリック教会 管区本部修道院 調布ミニバザーグループ 調布教会聖歌隊 板橋修道院 ケアハウスかおり 目黒教会(コンサート) 犬伏淳華 藤原康子 山縣久美子 松本保子 三宅映子 眞倉美喜 池末憲子 岩田貴子 聖ヨゼフ寮(甲府) 平田修道院 下井草教会オリーブの会 関町教会(谷川) 藤本 田垣 佐藤操子 宮島智美 調布教会有志 稲垣 都城聖ドミニコ学園高校生徒会 永田公義(掛川教会) 下井草教会有志 調布教会 東京修学志願院 井萩第二修道院 長真琴・純子 滝口 村田洋子 和田圭一郎 福島美香 佐藤安英 関口英子 松永靖子 三原奈美 仲田敏子 三輪峰子 カトリック関町教会 笹倉茂美 堀元子 雙葉学園 横関裕美 柿沼志津子 橋爪史孝 大平智子 緒方みゆき 吉雄直子 辰馬仁 氷川好美 真島顕子 笠間恵美子 中野領三 藤本三美 別府和子 吉田有美 柳田みどり 曾根田秀子 徳矢貢一 堤俊 坂本順子 森一 加納和寛 塩野良江 山縣隆雄 本田京子 戸澤博 田上めぐみ 川口栄子 藤嶋史子 高平淑子 三宅晴輝 村中健一 古森郁代 白河カトリック幼稚園 片岡京子 赤澤進 飯田昌子 唐木武志 平沢育子 神保朱美 中村妙子 鍋内初恵 西山クニ子 西山浩 鈴木裕子 八木下泰博 森岡多恵子 牧田みどり 久高武外 井上進二 カトリックカリタス幼稚園 星野亜紀子 里美千代 三上由美子 林ヤヨイ 徳美保子 河野正彦 常清操子 安田くみえ 松本はな 船木靖子 吉木敏子 宮澤伸子 池間初子 カトリック松本教会 吉田博 大瀬良正人 大滝秀美 洞口優子 矢野順市・美雪 小松多佳子 中田澄江 吉村欽哉 原タ子 内田健志 本村久代 大野正樹 溝井光子 明石嘉浩 堀田修平 横浜雙葉小学校 カトリック聖クララ幼稚園 桑野貴己子 梨木和子 中谷淳子 七澤順一 菊池茂樹 小西由美子 杉山憲次・尚子 梅津尚志・久仁子 鳥居孝一 藤沼淑子 南澤想 摂津順子 八島厚子 前川春美 高島晶子 藤原雅子 濱田洋一 門間ゴスペルファミリー 増田百合 アイカワカイル 都城聖ドミニコ学園幼稚園 石黒智泰 紫原修道院 松山篤則 中曾根正和・千恵子 堀由紀子 長崎洋子 柏倉恵造 佐藤寛 佐藤寛棋 井村悦子 尾崎和夫 豊田光則 小林裕子 伊藤紀子 畠山珠美 松尾睦子 久保瑞穂 坂原瑞穂 カトリック関口教会

切手・コインなど支援者

甲府修道院 東京つばみの寮 堤俊 藤井康子 立松美也子 杉山憲次・尚子 山田良 岡野憲一 阿部芙美子 別府和子 カトリック久留米教会 藤永栄子 曾根田秀子 吉田有美 林田令子 中根恵子 寺尾寿芳 宮脇裕美 緒方みゆき 河野由美 平沢判明・育子 須田 出口登代美 村橋美咲 丸谷晴康 村上綾 濱口照美 都城聖ドミニコ学園高校インターアクト 大和物流株式会社/東京支社・東日本管理グループ 福島美香 荘野久二子 武川千歳 渋谷琢磨 秋月美映子 宮崎ひとみ 川上裕子 木田清人 橋爪史孝 聖マリア病院 植田泰枝 小田原松風ライオンズクラブ 福岡地区カトリック女性の会 サレジオ小学校美化委員会 南澤想 多摩修道院 横須賀中央ライオンズクラブ 渡邊フサ 牧田みどり 聖マリア学院大学カトリックセンター(田上) 岩田貴子 聖マリア病院チャプレン 室川崎紀子 徳山教会(斉藤禎子) 三原修道院 高橋喜美子 東急建設株式会社人事部(高橋まや) 梶沢敦子 社会福祉法人千の風・川崎 横浜ひかりライオンズクラブ 庄司昌子 山縣久美子 大船修道院 碑文谷教会受付(事務) 井手順子 カトリック寺尾教会(担当・庄司) 大八木寿美子 カトリック宝塚教会社会活動委員会(荒井) 岩佐浩一 愛宕教会 平野あき子 甲府南ライオンズクラブ(会長 長田均) 飯島美智子 管区本部修道院 井萩第二修道院

バザー支援者

石津尚子 中村廣志 中島君子 下井草教会有志 久保礼子・洋介 坂詰君代 岩田貴子 山下越子 堀清子 中田澄江 藤本まさみ 中村幸子 福岡直子 佐藤奈津美 木村正子 藤原康子 八島厚子 中野敦子 山縣久美子 則竹伸子 松本保子 中島久子 岩田純子 花田喜子 榎本恵子 大森もと子 大森庸平 池田寿美子 武田和子 谷川京子 村越みどり 後藤みどり

【 お知らせ 】



2月15日、心配されたお天気も驚くほど青空になり、前日から準備に取り組んでこられた下井草教会の有志と関町教会有志、他にも友の会関係者やボランティアの方々のお陰で大盛況でした。温かい豚汁や手作り感一杯のおにぎり、手作りのパンやケーキ、お菓子、お花や雑貨と豊富な品揃えでした。ご協力くださいました方々に心より感謝申し上げます。まるで12日に天の御父の元へ召されたシスター岡野が見守ってくださっていたかのようにでした。

2026年2月、3月分

種類	重さ Kg	単価 Kg	円
日本使用済み切手	43.8	800	35,040
外国切手	1.4	2,000	2,800
外国コイン	2	1,500	3,000
〃	1.37	2,000	2,740
外国紙幣	0.26	12,000	3,120
合計			46,700

使用済み切手・外国紙幣・コインなどお送りくださり、ありがとうございました。ボランティアメンバー有志で、メンバーのご自宅をお借りして切手整理を定期的に行っております。管区本部の新築工事が完了するまで続きます。

【チャリティーコンサート】



来る11月23日(月・祝)にカトリック下井草教会にて、チャリティーコンサートを開催することになりました。チェロ(伊東裕)とコントラバス(水野斗希)のデュオです。稀なすばらしい演奏家によるコンサートですので、お近くの方は是非いかがでしょうか。



【編集後記】

カリタス友の会会員の皆さま、ご支援者・恩人の皆さま、猛暑の続く毎日ですが、お元気でお過ごしでしょうか。

年々、気候変動の影響で暑さが厳しさを増す中、教皇フランシスコの回勅『ラウダート・シ』の「すべてはつながっている」という呼びかけを思い起こします。一方で、世界では戦争や紛争、差別や貧困がなかなか改善されず、爆撃の映像が日常のように報道される現実に触れるたび、危機感を覚え、希望を失いそうになることがあります。

そのような中、先日のミサで朗読された「種を蒔く人」のたとえに心を動かされました。神のみ言葉の種は、どのような場所にも惜しみなく蒔かれます。その福音を黙想しながら、自分の思いと神さまの思いとの違いに気づかされました。私たちは目に見える結果ばかりを求めてしまいがちですが、神さまは私たちの見えないところでも絶えず働いておられます。そのことを思うとき、心に新たな希望が湧いてきます。

日々の小さな行い、いつものように繰り返している何気ないことも、祈りを込めて意識して行うなら、それは大切な愛の種まきとなります。今、祈りを必要としている方のために、祈ることさえできない誰かのために、遠く離れた国で困難の中に生きる兄弟姉妹のために心を寄せながら、自分にできることを誠実に果たしていきたいと思います。その実りはすぐには見えないかもしれませんが、それでも、「すべてはつながっている」と信じ、神さまが育ててくださることに希望を託したいと思います。

今号は、社会情勢を踏まえ、シンプルな紙面構成に努めました。また、現地との距離を少しでも近く感じていただけるよう、動画をご覧いただける QR コードも掲載しております。映像を通して、現地の人々の思いや活動をより身近に感じていただければ幸いです。

皆さまの温かなお心遣いと寛大なご支援に、心より感謝申し上げます。これからもイエスのカリタス友の会へのお祈りとご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

イエスのカリタス友の会 コーディネーター

シスター 浜崎昌子

イエスのカリタス修道女会について、その歴史・精神・霊性・使徒職など発信しております。

イエスのカリタス修道女会ホームページ

<http://www.m-caritas.jp>

寄付金受け入れ口座

加入者名 イエスのカリタス友の会

郵便振替口座 00160-2-564970

他金融機関からの振込用口座番号

〇一九店(019) 当座 0564970

発行 イエスのカリタス友の会

〒167-0021 東京都杉並区井草 4 丁目 20-5

TEL:03-3396-2171 FAX:03-3396-2150

e-mail: tomonokai@m-caritas.jp

代表:山縣久美子 事務局長:中村廣志

